

乾しいたけに係る放射性物質問題への特別支援を求める意見書

静岡県により、平成23年10月8日に乾しいたけの放射性物質汚染に関する分析が行われたところ、伊豆市の区域内で生産された乾しいたけから暫定規制値を超える放射性セシウムが検出されたことから、乾しいたけの生産流通に携わる関係者に対し、伊豆市内で平成23年3月11日以降に収穫されたしいたけを加工した乾しいたけについて、出荷の自粛及び自主回収の要請があった。

伊豆市内では零細な生産者が多く、既に乾しいたけの出荷自粛や自主回収により甚大な被害を受けている。また、これから本格化する秋の収穫期を控え、生産者の心労はますます大きくなっており、速やかな対策が求められるため、次の事項について要望する。

記

1 安全確認と安全宣言について

伊豆市長、伊豆の国農業協同組合代表理事組合長、田方椎茸生産組合連合会長は、伊豆市内において平成23年3月11日以降に収穫し、加工した乾しいたけの出荷自粛及び自主回収の要請を受諾している。

多くの在庫を抱え生活に不安を抱えている生産者を救済するため、安全確認を早急に行ったうえで速やかに安全宣言すること。

2 安全な乾しいたけの出荷と風評被害対策について

市内の生産者は、春に収穫した乾しいたけを大量に在庫に抱え、さらに出荷自粛と自主回収により大きな打撃を受けている。これから秋の収穫期を迎えて風評被害によるさらなる被害拡大が想定される。

市内しいたけ生産者の大半が零細生産者であり、その生活を守るため速やかな風評被害対策を実施すること。

3 原木の安全確保への支援について

きのこ原木及び菌床用培地の当面の指標値が平成23年10月6日に農林水産省生産局農産部園芸作物課長、林野庁林政部経営課長、林野庁林政部木材産業課長名で发出され、放射性セシウムの濃度の最大値が150ベクレル/kgと示された。

風評被害の防止と安全なしいたけの生産を図るため原木の調査に対する支援を実施すること。

4 放射能対策専門家の派遣と調査について

生産者は安全なしいたけを供給したい思いであるが、放射能に対する知識に乏しく、放射能対策を講じる事が困難な状況にある。

放射能に関する専門家による支援を実施すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成23年10月28日

静岡県伊豆市議会

提出先

静岡県知事 川勝 平太 殿